

外国語科学習指導案

生徒 第2学年B組 男子21名 女子19名 計40名
 指導者 教諭 五嶋春奈

I 単元 『Unit 5 A New Language Service』

II 単元について

本単元では、新聞記事を読むことで日本に暮らす外国人が直面する様々な問題について考えることができる内容である。文法事項では接続詞 (if, that, because, when) が新しく取り上げられ、これらを用いることで理由や条件・場合などを加えながら自分の考えを述べることができ、より豊かな表現力を身に付けられる。また、自分の立場や考え方を明確にする表現を新たに習得することによって、これまでよりも更にコミュニケーション技能の幅が広がることが期待される。

本時の学習では、思考・判断・表現に密接にかかわりをもつ言語活動である「読むこと」に重きを置き、新たな文法事項を含む英文を読み、内容を理解し、得た情報を使い周りとのコミュニケーションを図る能力を養いさせたい。

III 生徒の実態について

コミュニケーションへの関心や意欲は全体的に高く、英語検定などの資格取得にも熱心に取り組んでいる。しかし、英検3級以上を取得している割合は低く、今年行ったCRT検査の結果からは、観点別では「外国語理解の能力」が、領域別では「読むこと」が全国比で低い状態にあることがわかった。そこで本単元では、「読むこと」を中心に取り組み、普段、生徒自身が軽視しがちな音読を通して、文章の内容理解を深める活動をしていきたい。

IV 単元の指導目標

・英文を読み、それに対する自分の考えを接続詞を用いて書いたり発表したりする。 【外国語表現の能力】	・間違いを恐れずに積極的に質問や解答をする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
・英文を読み、それに関する質問に適切に応じる。 【外国語理解の能力】	
・接続詞を用いた英文の文構造を理解する。 【言語や文化についての知識・理解】	

V 指導計画 (11時間扱い 本時11/11)

学習内容	指導内容	時間	<基礎的・汎用的な能力>との関連
○if節を用いた文の構造理解と練習。	・接続詞が結ぶ2つの文には必ず、主語と動詞が含まれることに気づかせる。	3	【人間関係形成・社会形成能力】
○that節を用いた文の構造を理解する。	・thatの色々な使い方について知らせる。	2	【人間関係形成・社会形成能力】
○when節を含む文を読み、それに関するQ&Aを行う。	・文と文のつながりを意識しながら繰り返し接続詞を含む英文を書かせ、定着させる。	2	【人間関係形成・社会形成能力】
○because節を用いた文構造を理解し、本文の提案文を読み取る。	・becauseに続く副詞節と名詞節を視覚的にも分かるようにする。	3	【人間関係形成・社会形成能力】
○異なる内容の2つの文を読み、内容を理解した後、ペアでQ&Aを行う。	・音読を通して接続詞を含む2つの文章の違いを把握させ、内容理解を問うQ&Aをさせる。	1 本時	【人間関係形成・社会形成能力】 【自己理解・自己管理能力】

VI 学校研究との関連について

生徒の実態でも述べたように観点別では「外国語理解の能力」、領域別では「読むこと」に課題があるため、「意味を捉えながら読む」音読を通して、生徒が思考・判断する場面を活動の中に取り入れる。また、そこで得た情報を使い英検の2次試験を想定した Q&A を周りで行うなど知識・技能を活用する力を育むことによって、実践的な英語力の向上につなげたい。

VII 本時案

- 1 題材 「Unit5 A New Language Service Reading for Communication」
- 2 学習目標
 - ・英文を読み、内容を理解し、それに関する質問に適切に応じる。【外国語理解の能力】
- 3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
○Warm-up ○既習事項の復習 ○本時の学習目標を把握する。	○日常的な挨拶を行う。 ○Vocabulary and Key phrases check を行う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 英文の内容に関する質問に正しい表現で答えよう。 </div>		
○本文を黙読する。 ○モデルにならないワークシートの文を音読する。 ○教科書本文とワークシートの文との異なる部分にアンダーラインする。 ○異なる部分をパートナーと確認し、その後、全体で確認する。 ○Buzz Reading ○内容に関する Q&A をペアで行い、評価する。 ○今日の取組についての自己評価をする。 ○次時の確認と挨拶。	○文章の流れ、内容に注意しながら読ませる。 ○意味のまとまりに注意しながら音読できるようモデルリーディングを与える。 ○教科書本文とワークシートの文を比較させ、違いを読み取らせる。 ○ペアで確認させる。 ○TV モニターを使い、クラス全体で確認する。 ○文章の流れや論点を意識しながら読ませる。 ○問題を出す前に一度、全質問を確認させる。 ○音読終了後、ペアで2つの文に関する Q&A を行わせる。 ○今日の取組を振り返らせる。 ○家庭での復習を呼びかける。	○音読の際に何に注意して読むのか目的を明確に伝える。 ○間違った部分を消すのではなく、正しいものと比較するために残すよう伝える。 ○空読みにならないよう注意させる。

4 評価

- (1) 英文を理解し、それについての質問を聞き、正しい文法表現を用いて答えることができたか。